

おかけください！

校長 工藤 誠志

ある日、「こんにちは」と挨拶をして中学部のある教室に入っていくと、生徒の一人が給食を食べていた手を止めて、ホワイトボード脇までダッシュして椅子を持ってきました。そして、自分の席の脇に置いたと思ったら、もう一度持ち直して友達の席の脇に。それでも納得がいけないようで、結局、生徒と友達間にある机に椅子を置いて指差しました。彼の中で落ち着いたポジションになったようなのです。すると、その席の後に座っている生徒がこう言うのです。「座ってください。」…「椅子にかけなさい。」…「こちらにおかけなさい。」…「椅子におかけてください。」…「椅子におかけください。」

最後の言葉にたどりつくまでには、ちょっとだけ時間がかかりました。生徒の頭の中には、たくさんの言葉が浮かんでいるのでしょう。これまでのいろいろな人との会話ややりとりで生徒の頭に言葉がたくさん蓄積されていることが分かりました。そして、正しい言葉掛けをしようとして一生懸命に考えていることが伝わってきました。私も立ったまま結果を期待して待っていました。「この椅子におかけください。」の声を聞いて、私もホッとして座りました。またまた児童生徒の成長の一場面を共有することができた、とてもうれしい時間になりました。

ラジオ体操 技術部門エリア奨励賞 受賞！



先日、小学部 5 年 5 組の皆さんにかんぽ保険からラジオ体操優良団体等の表彰が届きました。技術部門エリア奨励賞の立派な賞状や電子メモをいただきました。この表彰は、昭和 31 年から実施しているもので、ラジオ体操の普及奨励に寄与した団体または個人を対象として、全国表彰、地方表彰、府県等表彰を行っているそうです。東北の表彰 2 団体の一つが 5 年 5 組なのです。朝の運動や体育での取り組みの成果を評価していただいたのですから、うれしいですね。

「暗いと不平をいうよりも、進んで灯をつけましょう」

私が、新採用で本校に赴任したときから校内で一番暗いと思っていた場所が、現在の校長室から職員室につながる廊下でした。12月に県教育庁施設課の方が来校した際に、「この場所を明るくしたい！」と私は話しました。その後、佐々木事務長さんが県の担当者となりやりとりをして人感センサーを取り付けることになりました。職員室の往き来や係活動にやってくる全ての児童生徒や教職員の手元や足下が必ず明るくなるのです。うれしい限りです。思っているだけでは実現しません。言葉にしてみましょう！！

